

2019.12.9 <計3枚>

草津市政記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

～Be an Impact Producer,～

**これからの時代を担う学生主催のSDGs体験型イベント
持続可能な社会の実現に向けた「Sustainable Week 2019」開催**

立命館大学 Sustainable Week 実行委員会(以下、実行委員会)は、学生主体で持続可能な開発目標(SDGs)の17の達成目標に向けて課題解決に取り組む「Sustainable Week 2019」を12月14日～20日、びわこ・くさつキャンパスで開催いたします。

国連は持続可能な社会の実現を目指し、2015年の「国連持続可能な開発サミット」において、17の達成目標と169のターゲットからなるSDGsを掲げました。近年、世界的にSDGs達成に向けた取り組みが行われており、国内でもSDGsに沿った事業が増えています。

2017年より、実行委員会はSDGsの達成目標に向けて学生団体が解決策を見出し、実践する機会として「日本初、学生主催のSDGs体験型イベント」を開催しています。2017年・2018年の2年間で延べ4,000人の来場者にSDGsを考えるきっかけを創出しました。

今年度は、より多くの人々にSDGsを実践してもらうことを目的に、子どもたちから大人まで楽しめる「講演・ディスカッション」「体験企画」「展示・ツアー」「物販」の4つのカテゴリーの企画を用意しました。12/17(火)に行うシンポジウム「地域の『自律』の意味を考える-自律モデルの実装化を図る」では、研究者と学生、大学職員、自治体職員より様々な視点からSDGsが地方創生の起爆剤になりうるのかを議論していきます。

また、学生団体店舗を含めた一部の物販では、本学での開催のイベントでは初となるPayPay(QRコード決済システム)を導入します。

この活動を機に、来場者がSDGsに関心を持ち、実際に行動に移す機会となればと考えています。

記

日 程 : 2019年12月14日(土)～12月20日(金)

※12/20(金)は外部向け企画・展示企画なし。

会 場 : 立命館大学びわこ・くさつキャンパス(滋賀県草津市)**内 容** : 別紙参照**申 込** : 申込不要。どなたでもご参加いただけます。(一部企画はお申込が必要です。)**主 催** : 立命館大学 Sustainable Week 実行委員会**協 賛** : 住友金属鉱山株式会社**後 援** : 滋賀県、大津市、草津市(申請中)、甲賀市(申請中)、立命館SDGs推進本部、立命館地球環境委員会、立命館サステイナビリティ学研究センター

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:中村

TEL. 075-813-8300 FAX. 075-813-8147

<http://www.ritsumei.ac.jp/>

別紙

< Sustainable Week 2019 スケジュール > HP: <https://sustainableweek.org/sw2019>

■ 2019年12月14日(土)

11:00~11:30	開会式(@セントラルアーク 1F)
11:30~13:00	<p>シンポジウム「大学を超えて SDGs に取り組む」(@セントラルアーク 1F)</p> <p>今年の夏に京都で実施したみやこ KAMADOKI プログラムでの受講生が学校法人立命館仲谷総長とともに大学、そして大学を超えてどのように SDGs に取り組んでいくべきかをディスカッションします。</p> <p>〈登壇者〉 ※敬称略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲谷善雄 (学校法人立命館総長、(公財)大学コンソーシアム京都理事長) ・渡邊里々子 (みやこ KAMADOKI プログラム事務局、校友) ・新谷彩 (SDGs アクトコース・立命館大学理工学部 3 年生) ・都公 (SDGs スタジオコース・京都大学経済学部 3 年生) ・安井大斗 (SDGs アクトコース・龍谷大学政策学部 2 年生) <p>〈モデレーター〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中西優奈 (Sustainable Week 実行委員会副委員長・生命科学部 3 年生)
11:30~16:00	<p>PayPay 物販ブース(@セントラルアーク 1F)</p> <p>物販ブースと外部キッチンカー 鉄平では QR コード決済システム PayPay がご利用可能です。また、SW PayPay 導入検証実験と称した買い周りキャンペーンも実施いたします。</p> <p>〈販売物〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SW オリジナルグッズ ・SDGs オリジナルグッズ ・甲賀市 各種物産(お茶ジャム、もちパイ) ・外部キッチンカー 鉄平(各種鉄板焼、丼もの等) <p>※商品には限りがございます。</p>
11:30~17:00	<p>「継続的な支援で見えてきたもの-IROHA×SDGs」(@セントラルアーク 2F BBP)</p> <p>毎年 2 回、カンボジアで様々なプロジェクトを行っている国際協力団体 IROHA の現地での活動の様子を収めた写真展、動画放映を行います。</p>
11:30~17:00	<p>「U's 学生が見たロヒンギャ」(@セントラルアーク 2F BBP)</p> <p>ミャンマー、バングラデシュ、マレーシア、日本の4ヵ国でロヒンギャ問題取材した学生を中心に、ロヒンギャの現状を伝える写真展です。</p>
11:30~17:00	<p>「EDO×ART×BAR」(@ユニオンスクエア 1F ユニオンホール)</p> <p>水の変化と江戸文化の職におけるサステナビリティから現代を見ます。現代の高まった技術力と、江戸文化における職のサステナビリティを融合し、水質問題や江戸のサステナビリティを伝えていきます。</p>
11:30~17:00	<p>「Reduce Food Waste」(@セントラルアーク 1F)</p> <p>学生を対象に、学食のフードロスの現状をポスターで展示し知っていただくとともに、「なぜ食事を残してしまうのか」のアンケート調査やフードロスを減らしていくための解決策を提示してもらい、オープンな意見交換を行います。</p>
13:15~14:15 15:45~16:45	<p>「未来キャンパスツアー」(@セントラルアーク 1F)</p> <p>普段大学で行われているびわこ・くさつキャンパスの魅力を伝えるキャンパスツアーとは一味違った Sustainable Week 独自のキャンパスツアーを開催します。</p>
14:30~15:30	<p>「SDGs 表現論特別企画」(@セントラルアーク 1F)</p> <p>未来を担う若者が、SDGs 表現論(教養科目)を担当する山中司教授とともに、社会を変える主役になるためにはどのように SDGs に向けて取り組んでいくべきかをディスカッションします。</p> <p>〈登壇者〉 ※敬称略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山中司 (生命科学部教授) ・濱野優貴 (同志社女子中学校教諭) ・富岡大貴 (立命館守山高校 2 年生) ・野山美鈴 (N 高等学校 2 年生) ・堀江真 (玉川小学校 5 年生)

	〈モデレーター〉 ・岸本俊輝 (Sustainable Week 実行委員会事務局長・理工学部 3 年生)
17:30~19:00	ネットワーキング(@ユニオンスクエア 2F) ご来場いただいた方同士で交流を深める時間です。※参加費:1,000 円

■2019 年 12 月 15 日(日)

11:00~14:00	「知らんけ? OKISHIMA」(@セントラルアーク 1F) 沖島の食材を使った料理を販売します。食べていただきながら、その裏にある沖島の漁師の方などのストーリーを伝えていきます。 当店舗は QR コード決済システム PayPay がご利用可能です。
11:00~14:00	「こうかフェ」(@セントラルアーク 1F) 甲賀市もち工房お餅使用ぜんざいの販売を行います。 当店舗は QR コード決済システム PayPay がご利用可能です。
14:00~16:30	「ゆるパラ/体力測定会」(@スポーツ健康コモンズ 1F アリーナ) 運動不足気味なあなたの体力をスポーツ健康科学部生がチェックします。誰でも楽しくできるスポーツ:ボッチャや風船バレーで身体を動かすことができます。
14:00~16:30	「やらんとわからん SDGs」(@セントラルアーク 1F) 誰もが楽しく参加できるゲームで SDGs の重要性を感じられる場です。
14:30~15:30	「未来キャンパスツアー」(@セントラルアーク 1F)
16:00~17:30	「モビリティワークショップ-ロボットと考える未来-」(@イーストウイング 1F AIOL) ロボットや AI、Maas は私たちの生活を豊かにするのでしょうか? まずは私たちの身近なところから何ができるかを考えて未来を創造してみましょう。
13:00~16:00	「農業スタディツアー」(@アクロスウイング 1F アカデミックセミナールーム) 発展途上国の村落社会の中で様々な背景を持つ参加者が一緒になって共に考え、体験することで、環境面、社会面、経済面すべてにおいて持続可能な農業とは何かを考えるスタディツアーです。

■2019 年 12 月 17 日(火)

18:30~20:30	シンポジウム「地域の『自律』の意味を考える-自律モデルの実装化を図る」 (@エポック立命 21 1F エポックホール) SDGs を社会学、社会構造を歴史から考えるというアカデミックな視点と、滋賀県甲賀市で学生がふるさと SDGs に取り組んだ実践についての報告とディスカッションを行います。 〈登壇者〉 ※敬称略 ・宮下聖史 (共通教育推進機構 講師) ・岡崎滋樹 (経済学部 研究員) ・中西優奈 (TaBiwa+R 代表 生命科学部 3 年生) ・谷口理恵 (甲賀市総合政策部政策推進課 主事) ・大藪康成 (BKC 地域連携課 課長補佐) 〈モデレーター〉 ・戸簾隼人 (社会システム研究所プロジェクトメンバー、生命科学部 4 年生) ※終了後、希望者での懇親会を行います。(参加費 1,000 円)
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ポスター展示 2019 年 12 月 14 日(土)~12 月 19 日(木)セントラルアーク1F
 こちらの詳細はホームページにてご確認ください。

〈 Sustainable Week 2019 の協力団体(立命館大学学生団体のみ掲載)〉

ASOBASE、Entervibe、国際協力団体 IROHA、生命科学部自主ゼミ団体 Ritree、TaBiwa+R、ぼーどげムらば、BOND、立命館大学 COMARS

※その他協力団体についてはホームページにてご確認ください。